

(2010. 6. 24)



2010年全日本カート選手権 併催  
2010 RMC 美浜大会



### 特別規則書

本競技会は、社団法人日本自動車連盟(以下『JAF』という)の公認のもとに国際自動車連盟(FIA)の国際モータースポーツ競技規則および国際カート規則、ならびにそれに準拠した JAF の国内競技規則および JAF 国内カート競技規則・ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations 2010、ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2010・本競技会特別規則書に従って開催される。

## 1. 競技会開催に関する事項

- 1) 競技会の名称  
2010 RMC 美浜大会
- 2) 競技種目  
第1種競技車両によるスプリントレース
- 3) 競技会の格式  
クローズド格式
- 4) 開催日程及び場所  
日程:7月31日(土)～8月1日(日)  
開催場所:美浜サーキット 〒470-3235 愛知県知多郡美浜町大字野間字馬池 16  
TEL:0569-87-3003 FAX:0569-87-3001
- 5) オーガナイザー  
レーシングチームあかつき 共催:株式会社 美浜サーキット・クニモト 住所等は同上
- 6) 競技会役員  
公式通知にて示す
- 7) 競技会事務局  
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-15-25-305  
レーシングチームあかつき TEL:03-5793-1466 FAX:03-6888-5104
- 8) 種目、クラス区分と格式
  - ・ROTAX Junior MAX (クローズド)
  - ・ROTAX MAX (クローズド)

## 2. 競技会参加に関する事項

- 1) エントリーの資格
  - ・参加申込時点において、当該クラスへの競技に出場した実績のある者、またはオーガナイザーが認めた者で、下記の年齢規定を満たしていれば参加資格を有する。
    - ROTAX Junior MAX クラス : 当該年度小学6年生以上高校2年生までとする。
    - ROTAX MAX クラス : 当該年度中学3年生以上とする。
  - ・参加する全選手は、公式練習の前に車検場にて車両申告書を提出し車両検査を必ず受けなければならない。なお、車両検査には、受付で配布される車両申告書を記入の上、車検場にて車検を受けること。
  - ・選手受付にて配布される計測器は別紙説明図参考に車両に取付け、ゼッケンは前後左右のゼッケンパネルに確認しやすいように貼り付けること。
  - ・ドライバーズブリーフィングは必ずドライバー全員が参加すること。

2) 参加定員

参加受付台数は各クラスとも62台を最大として申し込み順にエントリーを締め切る。  
また、予選、決勝ヒートグリッド数は34台とする。大会事務局はエントリーに対する抗議は一切受け付けない。

3) エントリーの受付

エントリーの受付期間: 2010年6月30日～7月17日まで。  
郵送によるエントリーの受付: 2010年6月30日～7月17日までの消印有効。  
但し、書留にて郵送する。

受付場所: 〒106-0047 東京都港区南麻布 5-15-25-305  
レーシングチームあかつき TEL:03-5793-1466 FAX:03-6888-5104

4) エントリーの受付場所及び受付期間

受付場所: 競技会事務局と同じ

受付期間: 受付期間を過ぎてからのエントリーを希望する者は競技会事務局へその旨を申し出る。競技会事務局にてエントリー受理の可否を決定する。

5) エントリーフィー及び保険料

■ROTAX Junior MAX ¥12,000 (消費税・保険料含む)

■ROTAX MAX ¥12,000 (消費税・保険料含む)

・ピット要員登録料

■ピット要員 1名 ¥1,000 (消費税・保険料含む) ※2名まで登録可

### 3. エンジン及びカートに関する事項

1) 参加車両

2010年 JAF 国内カート競技車両規則、ROTAX MAX Challenge Technical Regulations 2010、本特別規則書の車両規定に準拠しているもの。

2) 自動計測装置(トランスポンダー)

オーガナイザーより貸し出された自動計測装置(トランスポンダー)の装着を義務付ける。また競技終了後速やかに返却するものとする。万が一破損、紛失した場合、理由の如何を問わず1個につき¥50,000をオーガナイザーへ支払うこと。

3) 重量

最低重量は下記の通りとする。最低重量を満たすためバラストを積む必要がある場合は、すべて固形材料を用いボルト・ナットで取り付けなければならない。

ROTAX Junior MAX クラス : 148 Kg

ROTAX MAX クラス : 160 Kg

4) フレーム及びタイヤの登録

フレーム1台、エンジン2機、タイヤ(ドライ・レイン)各1セットの登録に限る。

レインタイヤは競技委員長が認めた場合、参加者全員が1セットを追加することができる。

5) ゼッケンナンバー

各車両にゼッケンナンバーの装着を義務付ける。(前後左右)ナンバーはエントリー順に番号が決められる。ゼッケンナンバー色白 / ゼッケンベース色黒

6) レーシングスーツとフルフェイスヘルメット

皮製、合皮製またはカート用レーシングスーツの着用。なお、ヘルメットなど保護の役割を果たさないと判断した場合や著しく損傷しているものは参加使用不可とする。

7) CIK 公認ジュニア用ヘルメットの装着について

15歳以下のドライバーに対しCIK公認ジュニア用ヘルメットの装着を推奨する。

8) ブレーキダクト装着の許可

ブレーキダクトの装着をシャシーのブレーキ側の1本のみ取付を認めるものとする。尚、ダクト材質は金属利用は禁止とし、柔軟で割れにくいプラスチック素材で空気の吸気部が丸形状は円周、四角は4辺で計測し60cm以内。空気通路部分は円周・4辺で計測し30cm以内とする。取付方法はシートより高い位置でシャシーに強化ステーなどを使用し、6mm以上のボルト及びナットで

- 固定すること。また、インシュロックやガムテープなどで補強することも認める。
- 9) リアプロテクションの装着について  
市販のリアプロテクションを必備とする。
  - 10) 外装品・タイヤ位置規定  
前後輪ともカウル等の外装品とリアバンパーの一番外端から 1mm 以上外に出ている事とする。

#### 4. 競技に関する事項

- 1) ブリーフィング  
参加ドライバーはブリーフィングに出席しなければならない。ブリーフィングに出席しなかったドライバーの出走は認めない。
- 2) 公式練習  
・「JAF国内カート競技規則カート競技会運営に関する規定第6章第 23 条、24 条」に基づき公式練習を行う。  
すべてのドライバーは公式練習に参加しなければならない。ただし、ピットアウトしスタートラインを通過する前に本コース上で停止した場合も公式練習に参加したものと認められる。  
・各クラス、参加台数が34台を超える場合は、2グループ以上に分けて行う。グループ分けは選手受付の際、抽選により決定し、ドライバーズブリーフィング終了時まで公式通知にて発表され、抽選結果に基づいたグループで走行を行う。
- 3) タイムトライアル  
・すべてのドライバーは、タイムトライアルに参加しなければならない。タイムトライアルに参加しない場合には、予選ヒートは最後尾スタートとなる。複数台の車両がある場合はゼッケン順に配列される。  
・各クラスの参加台数が34台を越えた場合は、タイムトライアルを 2 グループ以上に分けて行う。グループ分けは選手受付の際におこなう抽選により決定する。  
・タイムトライアルの計測時間は5分間とし、ベストタイム方式とする。公式練習とタイムトライアルを連続して行う。  
・公式練習開始後、タイムトライアル開始時刻にコントロールラインにて計測中ボードが提示されタイムトライアルが開始される。  
・計測中ボードが提示されタイムトライアルの開始が示された後もドライバーは自由にコースインする事ができ、時間内であれば途中で停止した場合も再トライすることができるが、ピットインした後は、速やかにパークフェルメに進むものとし、再出走は認められない。  
・タイムトライアルの計測は、コースイン後にスタートラインを通過したカートに対して全てのラップを計測し、ベストラップのタイムを採用する。  
・義務周回数は定めない。  
・タイムトライアルの計測で記録したベストタイムが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用する。更に同タイムとなった場合もこれに準ずる。  
・タイム計測が出来なかった車両については、最後尾グリッドよりスタートするものとする。複数台の車両がある場合は、ゼッケン順に配列される。  
・公式予選が何らかの理由により中断された場合、残り時間分の予選を再開するが、必要に応じて大会審査委員会が再予選時間を決定することができる。  
・その他の方法で行う場合は公式通知にて発表する。  
・2グループ以上に分かれているタイムトライアルにおいては、各グループごとに予選ヒートを行う。グリッドは、各グループのベストタイム順に配列される。グループによって天候などによるコースコンディションの変化が生じた場合、一切考慮されない。
- 4) レース方法  
・レースは予選1ヒート、決勝1ヒートとし決勝ヒートの結果により最終順位を決定する。  
・参加台数が 5 台未満のクラスについては開催クラスとしては不成立となる。但し、レースは混走により行われていく場合がある。

- 5) 予選ヒート、セカンドチャンスヒート
  - ・予選ヒートのグリッドはタイムトライアルの結果により決定する。
  - ・オーガナイザーが決定する1ヒートのグリッド数を越える出場台数があった場合は予選を2グループに分けて予選ヒートとセカンドチャンスヒートを行う。
  - ・2グループに予選ヒートが分かれている場合、予選ヒートの結果により両グループより上位14台ずつ(28台)の出場者を決勝ヒートへ選出し残り6台はセカンドチャンスヒートにより選出する。
  - ・セカンドチャンスヒートのグリッドは、予選ヒート1位のレースタイムが速いグループを奇数グリッドとし、各列予選ヒートの着順とする。
  - ・予選ヒートおよびセカンドチャンスヒートの周回数は次の通りとする。  
予選ヒート: 12周/セカンドチャンスヒート: 8周
- 6) 決勝ヒート
  - ・予選ヒート、セカンドチャンスヒートを通してドライバーのみで行う。
  - ・グリッドは予選ヒート、セカンドチャンスヒートの着順による2列のグリッドとする。予選ヒートが2グループに分けられた場合の決勝ヒートのグリッドは、予選ヒート1位のレースタイムが速いグループを奇数グリッドとし、各列予選ヒートの着順とする。
  - ・決勝ヒート周回数は15周とする。
- 7) ローリング及びスタートについて
  - ・ローリング中のショートカットは認めない。ローリング(フォーメーションラップ中)隊列に大きく遅れ、競技委員長に指示された者、及びローリング(フォーメーションラップ)中にピットイン、停止した者、周回遅れの者は最後尾に着かなければならない。
  - ・スタート時の押し掛け区間は公式通知にて示す。
  - ・フォーメーションラップ中のドライバーは第6コーナー(定常円旋回コーナー)進入に設置したパイロンに差し掛かるまでに隊列復帰を完了していなければならず、第6コーナー進入に設置したパイロンからイエローラインまでの区間での追越しおよび割込みが禁止され、これに違反した者は当該ヒート失格となる。
  - ・スタート後、先頭のカートが1周するまでにスタートラインを越えないカートは、そのヒートに出走することはできない。また、フォーメーション(隊列)の先頭車両が第6コーナー進入に設置したパイロンに差し掛かった時点で、ピットからの出走はできない。
  - ・不出走などにより空席となったグリッドは、他のカートによって埋めてはならず、スタートラインを通過するまで空席が維持されなければならない。
  - ・イエローラインからコントロールラインまでに並べられているパイロン間の内側を走行することはできず、これを違反した場合はペナルティーの対象となる。
  - ・全車が1コーナーを通過するまでメカニックはメインストレートガードレールへ出てはいけない。
- 8) 危険回避の義務
  - ・すべてのドライバーは、危険回避義務があることを十分に理解しなければならない。
  - ・オフィシャルがドライバー自身によって、再スタートならびに車両移動ができないと判断された場合、オフィシャルの手によって、安全な場所に車両を移動する場合がある。
  - ・公式練習、タイムトライアル及びレース中にスピン等で車両が停止した場合は、他を妨害することなく、後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できるものとする。復帰するための最小限の方向転換は認められる。
  - ・クラッチ付きの車両については、リアタイヤが地面に接地した状態(リアタイヤが常に地面に接触した状態)でのみエンジン始動・作動が認められる。
  - ・ピットインする場合はピットロードを必ず徐行しなければならない。また、ピットインした場合はいかなる理由であっても必ずピットストップし、エンジンを停止しなければならない。再スタートはその後認められる。
  - ・ピットサインが出せる位置はコントロールタワーより1コーナー側のみとする。違反した場合はペナルティーの対象とし、選手に帰属するものとする。
  - ・ショートカットはオフィシャルの指示がない限りしてはいけない。ショートカットをした場合ペナルティーの対象とする。
- 9) その他競技に関する一般事項
  - ・変更事項の生じた場合は公式通知にて通知する。

- ・競技中、車両にテレメトリー(データを更新する装置)の搭載を禁止とする。技術委員に承認されたデータロガー(データ蓄積装置)及びタコメーターの使用は可能とする。但し、データロガー用のトランスミッター(発信機)の設置場所はコース外としオーガナイザーによって承認された場所のみとする。
- ・テレコミュニケーション(遠隔通話発信機)の使用は禁止する。これらの事項に対する抗議は一切受け付けない。
- ・フロントフェアリング、フロントパネルを必備とし、CIK/FIA 公認フロントフェアリングの取付方式とする。
- ・競技中など天災・不可抗力などによる施設内の設備停止・停電などの場合は、一時レース中断又は延期・中止となる場合がある。また、この場合オーガナイザーに対し抗議申し立てすることは一切できない。

## 5. 広告に関する事項

- 1) 競技と広告について
  - ・ナンバープレートに広告を表示することは認めない。
  - ・広告については車両検査までに取り付けること。
  - ・オーガナイザーは次の者に対し末梢する権限を有しかつドライバーはこれを否定することはできない。
    - ・公序良俗に反するもの
    - ・政治、宗教に関連したもの
    - ・本競技会と関係するスポンサーと競合するもの
- 2) オーガナイザーの権限
  - ・参加受付に際して、その理由を示すことなくエントラント・ドライバー・メカニックを選択あるいは否定することができる。
  - ・競技会スポンサーの広告を参加車両に貼り付けさせることができる。
  - ・すべての参加者、ドライバー、ピット要員の肖像権及び、その参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版に関する権限を有し、この権利を第3者が使用する事を許可する事ができる。

## 6. 抗議に関する事項

競技に関する抗議は当該ヒートの暫定結果発表後 30 分以内。または車両に関する抗議は自己のカート車検終了後 15 分以内に書面に加え抗議料¥20,300 円を添えて、競技委員長を経て審査委員会に提出しなければならない。

## 7. 成績及び賞典に関する事項

- 1) 成績決定及び賞典
  - ・決勝ヒートの順位によって決定する。(参加台数により変更する場合がある。)
  - ・正賞:各クラス1位~6位 副賞:各クラス1位~6位
  - ・今競技会はシリーズ対象外とし、両クラス共、ポイントは発生しないものとする。

## 8. 損害補償

- 1) 損害補償の責任について
 

オーガナイザーおよび競技会役員の業務遂行により起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷および車両の損害にたいしてオーガナイザー、後援、協力、協賛するものおよび競技会役員は一切の補償責任を負わないものとする。



2010 ROTAX MAX CHALLENGE 規則書に従う。

クラス		1	2
		Junior MAX	ROTAX MAX
エンジン	機種	ROTAX 125 JrMAX	ROTAX 125 MAX
	改造	切削付加等一切の変更、改造及び純正部品以外への交換は禁止	
	キャブレター	DELLORTO 改造禁止 純正キャブレター MAX 規定	
シャシー	機種	自由 JAF規定	
	リアアクスル	D.50mm 以下	
タイヤ	メーカー	MOJO	
	ドライ	D2	
	レイン	W2	
	最低重量 (kg)	148kg	160kg
	年齢 (当該年度)	小学6年生 以上 高校2年生迄	中学3年生 以上 (15歳以上)

美浜サーキット  
〒470-3235  
愛知県知多郡美浜町大字野間字馬池 16  
TEL:0569-87-3003 FAX:0569-87-3001

